

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード

相場が厳しいときこそ企業の実力が問われる



先月のFOMC開催から日銀金融政策決定会合にかけての「相次ぐ追加金融緩和」に沸いた株式相場も一服。外部要因軟化とともに株価指数は水準を切り下げてきており、やや出尽くし感を誘う流れとなっている。

ただ、前回コラム「暴落多発の『10月相場』は怖くない!？」でも紹介したように、10月相場は「過去の暴落発生」のイメージに反して底堅く推移するケースが多い。調整色を深めやすい9月からの見直し買いが入りやすく、投資戦略としても調整可能性を考慮しつつも買い場を探っていきたいところだ。

しかしながら、株価指数が水準を切り下げたことで、相場が落ち着いたとしても戻り売り圧力が残る状況だ。この厳しい外部要因、相場環境では、やはり企業の実態面が問われる。経済環境を問わず「着実に収益を上げる実力企業」を見極めれば、外部要因が落ち着きを取り戻すとともに見直しが進むだろう。

そこで弊社では、日本国内だけでなく、海外で収益を上げる成長企業を対象とした「厳選銘柄付き緊急市況レポート」を発売することにした。前回配信レポートからも早期に目標株価達成、返金条件クリアを果たす銘柄が登場するなど、的確な市況分析が高評価を得ている。厳選銘柄などレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。